

農作業安全トピック

1 シートベルト着用義務化

農耕作業用特殊車の死亡事故は転倒・転落によるものが多く、特に乗用型トラクターの死亡事故が多い状況を受け、道路運送車両の保安基準改正により、乗用型トラクターで道路を走行する際には、シートベルト着用が義務化されることとなりました。

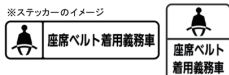
義務化はいつから？

令和9年1月1日 からです

どのトラクターが対象？

令和9年1月1日以降に製造された座席を有するトラクターは、大型特殊自動車・小型特殊自動車に限らず対象車となります

対象のトラクターには、ボンネット側面に座席ベルト着用義務車を示すステッカー*が貼付されます。

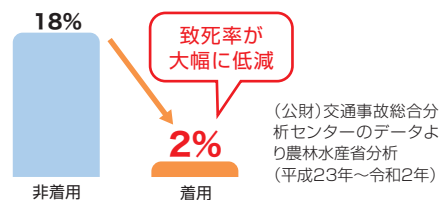


違反した場合は？

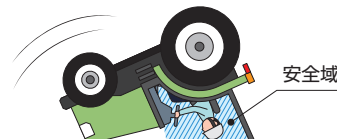
シートベルトの着用義務違反として、交通違反の点数1点が付されます

- ✓ 義務化の対象となるトラクター以外でもシートベルトを着用しましょう！
- ✓ 義務化が始まる前に、今から習慣付けをしていきましょう！

農耕作業用特殊車における事故時のシートベルト着用状況別致死率



座席ベルト着用は、農耕作業用特殊車の死亡事故率低下に有効



安全キャブ・フレームと座席ベルトで安全域にとどまることが可能

2 農業機械安全性検査

農業機械安全性検査とは、メーカーからの依頼により、農業機械の安全性に関する専門家である農研機構が検査する制度です。農研機構が原則として農業機械や農業施設等の実機を確認しながら安全性が確保されているかどうかを検査し、合格した農業機械等には、安全性検査証票が貼付されています。

対象機種

農用トラクター(乗用型/歩行型)、田植機(乗用型)、コンバイン(自脱型)、乾燥機(穀物用循環型)

安全性検査のPoint

- ✓ 国際安全規格との整合性をとり、**海外と同程度の安全性を確保**
- ✓ 事故の状況や時代に応じて、**検査基準の見直しを実施**
- ✓ 合格機には以下の**証票**が添付され、**安全性が確認された機械を公表**



2027年基準に合格した安全性検査証票



2025年基準に合格した安全性検査証票

対象機種の農業機械の更新を検討している方は、**上記証票が貼付されたもの**を購入してください！

ご自身の農機を確認しましょう！

令和6年度までの安全性検査証票は以下のマークです。

この証票や左記の証票が貼付されているか、ご自身の農機をご確認いただき、ついていない場合は、**新しい証票が貼付されている機械への買い替えをご検討ください！**



2018年/2019年基準に合格した安全性検査証票

農業機械安全性検査の基準の詳細についてはこちらの二次元コードからご確認ください



農業機械安全性検査の合格機についてはこちらの二次元コードからご確認ください



問題

- 1 乗用型トラクターの降車時に、両手で手すりをつかめるときには、前向きに降りてもよい。これは正しいですか、○か×で回答してください。



- 2 トラクターの整備・点検について、以下のうち正しいものはどれですか。
※正解は1つまたは2つです。

1. 作業機の付け替えをするため、最初に3点リンクを外し、次にユニバーサルジョイントを外した。
2. 作業機の点検整備をする際に、油圧ロックをかけたので、スタンドなどを使わずに、作業機の下に潜って作業した。
3. トラクターにエンジンをかけるとき、バックミラーに誰も映っていなかったため、何の合図もせず開始した。
4. ロータリーが詰まったため、油圧ロックをかけた後、エンジンを停止し、作業部が完全に止まったことを確認してから、詰まりを除去した。

- 3 次の画像は、トラクターがほ場に進入しようとしている様子です。安全対策として不十分な個所に4つ○をつけ、解答欄に書き出してみましょう。
また、どのように対策をするべきか考えてみましょう。

【解答欄】



1.

2.

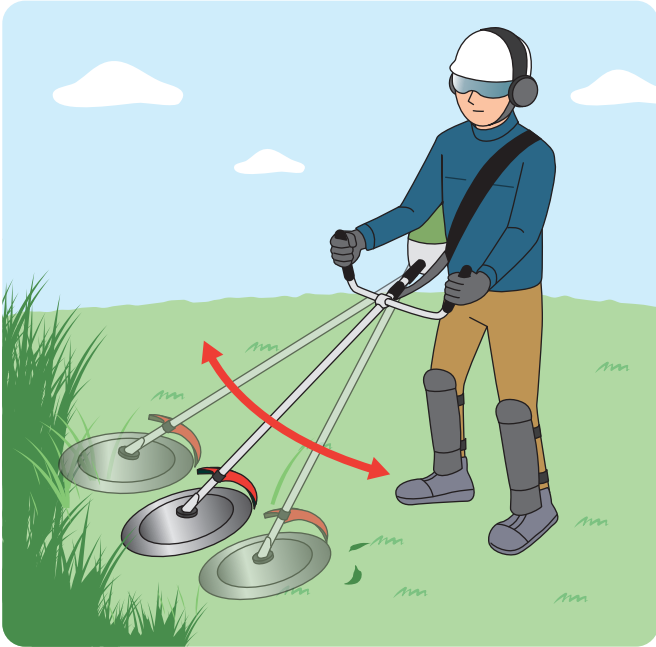
3.

4.

刈払機

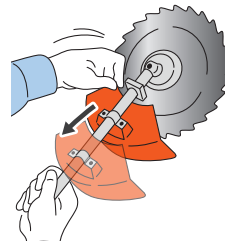
問題

1 刈払機で草刈りするとき、操作桿を左右に振り、刈刃の右側、左側で均等に刈っていく。これは正しいですか、○か×で回答してください。



2 次の作業方法の注意事項ですが、正しいものはどれですか。 ※正解は1つまたは2つです。

1. エンジンを始動するときは、平坦なところで、刈刃が地面や障害物に触れていないことを確認し、片手で操作桿を押さえてスターターを引く。
2. 絡みやすい草を刈るときは、飛散物防護カバーと刈刃との間に草が詰まりやすいので、予めカバーをずらして、刃との間隔を広く調整する。
3. コンクリート畦畔周りや立木の多いところなどでは、刈刃にナイロンコードを用いると良い。
4. 刈払機は騒音が大きいので、用事があるときは後ろから近づき、驚かさないように軽く肩をたたくようにする。



3 次の画像は、二人が急傾斜地で横方向に進みながら刈払い作業をしている様子です。安全対策として不十分な個所に4つ○をつけ、解答欄に書き出してみましょう。また、どのように対策をするべきか考えてみましょう。



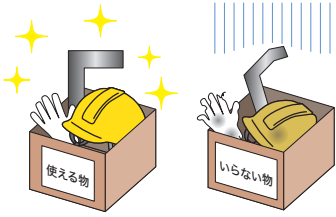
【解答欄】

1.

2.

3.

4.



必要なものと不要なもの
とを区別し、必要なもの
だけ倉庫に残しましょう

整理

必要なものを決められた場所
に、決められた量だけ、いつでも
使える状態に、容易に取り出せる
ように整頓しましょう



整頓

4S活動



ゴミ、ほこり、くずを
取り除き、油や溶剤
など隅々まできれいに清掃するこ
とで、仕事をやりやすくし、機械の異常
や設備の劣化不良など問題点に分
かるようにしましょう

清掃

清潔

職場や機械、用
具などのゴミや
汚れ、かぶっている土ぼこりなど
をきれいに取り、作業者自身も
身体、服装、身の回りの汚れがな
い状態にしましょう



4S活動に取り組んでいない場合・・・

- ・通路で物につまずいたり、油で滑るといった事故
- ・作業準備に時間がかかり、焦りや慌てによる事故
- ・機械の整備不良に伴う事故

などの事故の発生につながります！

この機会に作業環境を整え、働きやすい環境づくりに取り組みましょう！



**ヒヤリハット
共有**

今すぐできる、安全対策



農業現場で起きたヒヤリハットの事例を集めて、原因・対策を考えることで重大事故を防ぎましょう！

1 事例を洗い出しましょう！

作業や農業機械の種類ごとに、5W1H
(いつ、どこで、だれが、何をしたら、どう
なった)を意識し、事例を書き出しま
しょう。

例

倉庫で従業員の
一人がトラクター
の点検をしている
時に、作業機に潜
り込んで作業し、
頭をぶつけた。



2 原因と対策を考えましょう！

①人的要因②環境③機械や用具④作業
方法ごとに、原因と対策を考えてみま
しょう。

例

- ①ヘルメットをかぶっていなかった
- ②倉庫の照明が暗く、点検箇所が良
く見えなかった
- ③作業機の突起箇所にカバーが
なかった
- ④十分に作業機の位置を高くあげ
ていなかった

3 すぐの実行しましょう！

すぐに対策できるものから取り組みま
しょう。

例

- 作業時にはヘルメットをかぶる
- 点検時には、作業機を高い位置に
上げ、スタンド等で固定してから
作業する
- 突起箇所のカバーを購入する
- 倉庫の電球を更新する



ヒヤリハットを共有することで、自分だけでは気づけなかった危険個所に気づくだけでなく、日頃から危険個所を探すなどの安全意識向上につながります。家族、従業員、周辺の農業者の方々と話し合いの機会を設けてみましょう！

研修お疲れ様でした！このほか、農作業安全対策に関する資料をまとめている農林水産省のHPを是非ご確認ください。

また、研修資料の感想について、アンケートの御協力をお願いします。



農林水産省HP



アンケート